



心を込めた新年の贈り物

三日月地域のボランティアグループ「ことぶき会」が、今年の干支「へび」の置物 200 体を手作りし、寝たきりの高齢者などに届けました。新年を少しでも明るく迎えてほしいと 12 年間続けている取り組みです。置物は布を縫い合わせた中に綿をつめて形どったもので、赤や青など全 5 色。メンバーの前澤都見子さん（東大畑）は「一つ一つ心を込めて作ったもの。少しでも思いが届けば」と話していました。

Contents ● 主な内容

年頭のごあいさつ	・・・02—03
メガソーラー事業が始動	・・・04
FLASH NEWS（まちの話題）	・・・12—13
シリーズ「笑顔の輪」	・・・24



明けましておめでとうございます。皆様には、新たな気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、福島第1原子力発電所事故に始まった原発停止による電力不足は、節電への意識や取り組みが高まるなど、エネルギーの重要性を改めて認識させられました。

太陽光発電やバイオマスなど、原子力に頼らない代替エネルギーへの取り組みは、国だけでなく、地方自治体にも求められています。

町では、本年4月から国民共同で大規模太陽光発電（メガソーラー）事業を実施

します。鳥取自動車道建設の残土処分地約10鈔に、全国初の本製架台を使ったパネルを設置します。年間で一般家庭約1,500世帯

分の消費電力にあたる約5メガワットを発電し、売電収入は町の貴重な自主財源として、特色のある事業への活用を目指します。再生可能エネルギーを導入すること、環境に配慮した循環型社会実現への貢献も図りたいと考えております。

また、平成21年8月の台風9号災害からの『創造的復興』に向けて、引き続き力を注いでいきます。特に兵庫県と進めております大規模な河川改修工事は、順調に進捗し、平成26年3月完成を目指して工事が最盛期を迎えます。

そのほか、より良い教育・保育環境を整えるために、小中学校と保育園の規模適正化に向けた取り組みや、防災行政無線のデジタル化など、様々な課題や事業が

山積しています。また、国の財政が厳しさを増し、特別な財政支援を受けることができる合併特例期間も残り3年を切りました。今後とも、積極的に行財政改革に取り組みながら、個性豊かで活力あるまちづくりに取り組んでいきます。

少子高齢化、過疎化が進行する中、佐用町には温かいコミュニティや強い絆など、先人たちから引き継いだ「誇り」があります。本年も、この誇りを大切にはぐくみながら、皆さまと手を携え、協働のまちづくりを一層進めてまいります。

本年も変わらず温かいご支援をお願い申し上げますとともに、町の平安と、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭のごあいさついたします。

新年明けましておめでとうございます。皆様には、

ご家族おそろいで健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は町議会に、また行政全般にわたり、温かいご理解と格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

佐用町におきましては、合併から、はや8回目の新年を迎え、平成21年の台風9号の大災害からも4年目を迎えることとなります。町の災害復旧事業等に加え、平成25年度完成を目指し、兵庫県と実施しております河川改修事業は最終年度を迎えることとなり、より安全・安心なまちづくりが着々と進められていることは慶びにたえません。

さて、国内の経済状況は、欧州の債務危機、中国経済

の成長鈍化の影響や節約・省エネ志向の高まり、社会

保障制度に対する不安感による消費の減退などによって、復興需要はあるものの、経済成長は昨年は1.6割にとどまり、本年については0.7割と、より下方に見込まれています。

また、最新の国連のデータによれば、世界の人口は70億人を突破し、今世紀の半ばまでに93億人にまで増える見込みとなっています。60歳以上の高齢者数は、現在の約3倍の24億人に増え、また都市に住む人の割合は、現在の5割から7割程度にまで増加すると見込まれています。

本町におきましても、長引く景気の低迷、少子・高齢化と若者の流出による人口の減少と過疎化は、若人

にも魅力があり、にぎわいと活力あふれる地域社会の実現にとって、厳しい課題となっています。

議会といたしましても、少子高齢化や過疎化対策とともに、「復興のまちづくり」を目指し、「人々がふれあい輝く、自立と協働のまちづくり」に向けて、行政と共に進めてまいります。

合併特例期間もあとわずかとなり、地方分権化が進められる中、厳しい自治体運営が迫られています。将来の佐用町財政の健全な運営に向けて、議会としても全力で取り組んでまいります。どうか本年も、変わらぬご指導、ご支援をお願いしますとともに、町民のみなさまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。

人々がふれあい輝く
自立と協働の
まちづくりを推進

佐用町議会議長

西岡正

誇りをはぐくみ
協働のまちづくりを
一層推進

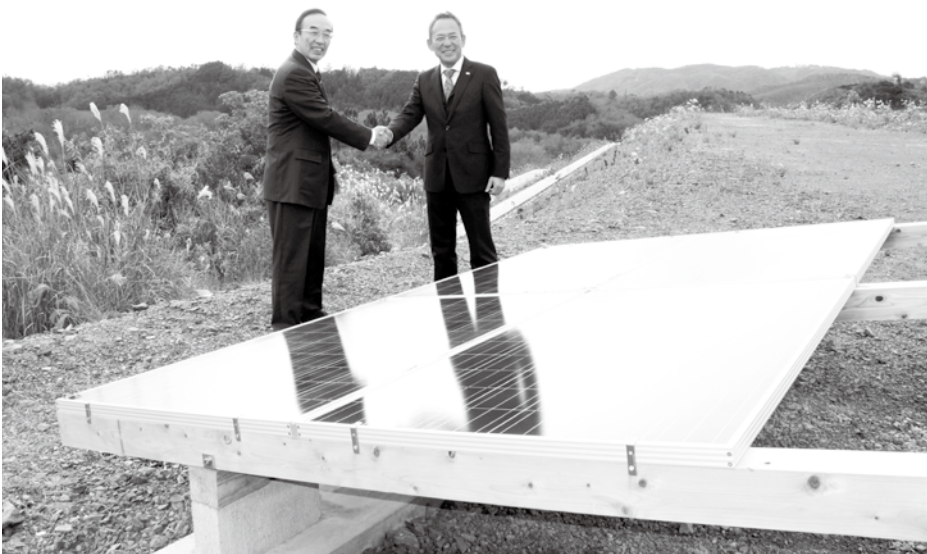
佐用町長

庵 迺 典 章

全国初の木製架台を採用 発電能力は約5メガワット

官民共同のメガソーラー始動

町は、制御機器メーカー「アイデック株式会社（本社・大阪市）」と共同で大規模太陽光発電（メガソーラー）事業を実施します。全国初の木製架台を採用し、発電規模は約5メガワットを予定。発電した電力は売電し、利益は特色のある事業への活用を目指します。



建設予定地に試作した木製架台の太陽光パネルシステム



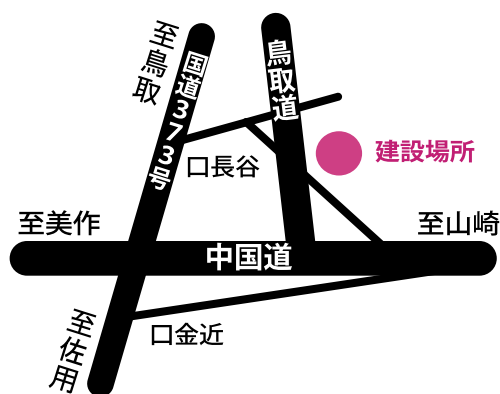
（左から）協定を締結した庵迥町長とIDEC株式会社・船木俊之代表取締役社長

間伐材約1万本を利用

計画では、鳥取自動車道の工事によって発生した口長谷地内の残土処分地約10ヘクタールに、2万1千枚の太陽光パネルを設置します。

全国初となる木製架台には、県産ヒノキの間伐材約1万本を使用。鋼材よりも材料費が6〜7割ほど安価で、作業日程も短縮し、使用後は再利用できます。

また、間伐材を利用するこ



とで山林の荒廃を防ぎ、災害防止にもつながります。

26年3月に発電を開始

総事業費は送電線の敷設費用を含め、約15億円。年間で一般家庭約1,500世帯分の消費電力にあたる約5メガワットを発電し、年間の売電収入は約2億円を見込んでいます。

また、事業は町とIDEC株式会社が有限責任事業組合を設立して運営。事業費と収入は、基本的に両者で折半します。工事は平成25年4月に着工。平成26年3月に発電を開始する予定です。

事業開始に先立ち、11月30日に両者で基本協定を締結。庵迥町長は「森林利用の促進など、すべてが環境に優しい再生利用可能エネルギーとして、全国に発信していきたい」と抱負を語りました。

企画防災課まちづくり企画室
☎82・0664

まちづくり基本条例案の提言書が町へ提出

町民主体のまちづくりを推進

各種団体や地域の代表者で構成する町まちづくり推進会議まちづくり基本条例分科会が、12月3日、同条例の提言書を町へ提出しました。町は、この提言を踏まえて原案を作成し、3月議会に提案する予定です。

■まちづくり基本条例とは

―まちづくりに関する基本的なルール

まちづくり基本条例とは、まちづくりを進める上で基本規範と位置づけられる条例で、まちづくりに関する基本的なルールを定めています。

具体的には、まちづくりを支える町民、議会、行政の役割と責務を明記するとともに、協働してまちづくりに取り組む仕組みなどを定めています。そして、13の地域づくり協議会の活動を条例で担保し、町民主体のまちづくりを一層進めていくことができます。

佐用町まちづくり基本条例

町民シンポジウム開催

―みんなで創ろう わたしたちのまち

■日時 2月5日(火) 午後7時30分～

■場所 さよう文化情報センター

■内容

・まちづくり基本条例の説明

・基調講演①

『佐用町まちづくり基本条例は何を目指してるのか』

講師 まちづくり推進会議顧問
帝塚山大学大学院教授
中川幾郎さん

・基調講演②

『住民参加で楽しいまちづくり』

講師 まちづくり推進会議顧問
からくさ塾主宰 小嶋明さん

参加
無料

また、昨年12月6日から17日まで、条例案について町民の皆さんからご意見をお伺いしました。寄せられたご意見

提言書には、条例制定の背景や必要性などが明記されているほか、条例案の内容を検討した経過などが記載されています。

本条例案は、平成23年9月に同会議に分科会を設けて検討を開始。これまで、委員17人が13回にわたり協議を重ねてきました。

13回に及ぶ協議で提言作成

は、最終案に反映させていきます。

町民シンポジウムを開催

条例案を皆さんに広く知ってもらうため、2月5日、さよう文化情報センターで「町民シンポジウム」を開催します（左記）。条例内容の説明や、同会議顧問の中川幾郎さんと小嶋明さんの基調講演も行われます。ぜひ、ご参加ください。

企画防災課まちづくり企画室
☎82・0664



「人は支え合わないと生きてはいけない」と話す住田さん。肩書や見た目にとらわれず、温かい心で絆を育んでいこうと参加者に語り掛けました。



「みんなに親しまれる地域づくり」と題し、実践発表を行った長谷地域づくり協議会センター長の尾崎節男さん。時折、腹話術を交えた発表は、会場を和ませていました。

人権まちづくりフェスタ2012

人権への理解を深めよう

人権に関心を持ち、正しい理解と認識を深めてもらおうと、12月1日、さよう文化情報センターで「人権まちづくりフェスタさよう2012」が行われました。

会場では、人権作文・標語・ポスター入選者に表彰状が贈られました。今年是人権標語は178点、人権ポスターは72点の応募があり

ました。また、上月小学校PTA会長の平林扶美さん（早瀬1）と、長谷地域づくり協議会センター長の尾崎節男さん（奥金近）が、実践発表を行いました。

その後は、弁護士^{きずな}の住田裕子さんのトークショーが行われ、参加した皆さんは、人権について改めて考える機会となりました。

■人権標語入選（敬称略）

笑み添えて 挨拶かわす 地域の輪
僕と君 性格体格違っても 命の重さは同じだよ
いじめゼロ みんなで仲よく 一歩ずつ
ありがとう その一言が 金メダル
そのいじめ 見て見ぬふりも 同じ罪

久保美里（豊福）
高見昌幸（家内）
小林実優（奥金近）
萩原健文（横坂）
岡本杏香（上上月）

■人権啓発ポスター入選（敬称略）※作品は次号以降でご紹介します

園児の部 三河保育園
小学年の部 坂本舞莉亜（幕山小6年）・西川夏海（三日月小6年）
中学校の部 孝本眞子（佐用中2年）



人権ポスター入選者
（小学、中学校の部）



人権標語入選者



私はこの夏、南光園の工作教室に参加しました。様々な障害をもった方と一緒に、キャンドルなどを作りました。短い時間だったけれど、一緒にお話をしたり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

時間準備をしました。私は南光園の方を案内しました。一緒に楽しくゲームが出来たことも良かったし、名前を覚えてもらって、とってもうれしかったです。三河ハッピーハッピーランドが終わって、南光園の職員さんからお手紙をいただきました。お手紙の中には、「利用者さんが名前を呼んでもらってうれしかったようです。」と書か

れていました。私も南光園の方に名前を呼んでもらってうれしかったし、南光園の方も私達に名前を呼んでもらってうれしかったと聞いたので、南光園の方を招待して良かったなと思いました。

また、三河ハッピーハッピーランドには、高年クラブの方も招待しました。高年クラブの方には、米作りでいつもお世話になっていきます。田植えや稲刈りなどもお手伝いしていただいたり、私達の見えないところでも、お米のお世話をしていたでいています。高年クラブの方も、私達が考えたゲームを楽しんでくださいました。

三河ハッピーハッピーランドの後、地域で出会った高年クラブの方にあいさつも出来るようになったし、お話をするのも楽しみなになりました。だから、三河ハッピーハッピーランドのおかげで、ふだん交流があまりない高年クラブの方と、少

しだけど交流が深められるいい機会になったと思います。

今の時代は、携帯電話やインターネット、メールなどがあるので、人と人が直接会わずにそれらを通じて会話をすることがあります。とても便利な世の中です。でも、交流を通じて、人と人がふれあい、一緒に

私達六年生は、さらに高年クラブの方と交流を深めたいと思い、高年クラブの方に感謝の気持ちを伝える会を計画しました。準備期間も短く、不安がたくさんありました。そして迎えた十月二十六日。高年クラブのみなさん、たくさん来て下さるのかとたくさん不安がありました。十六名の方が来て下さいました。始めると、高年クラブの方と一緒に楽しく会話をしながら、ゲームも出来ました。グラウンドゴルフでは、コツを教えてもらったりして、会話もはずみました。

私の夢は、介護士になりたいと思っています。私のお母さんは介護士なので、お母さんが利用者さんに笑顔で声をかけている姿を見て、私もあんな風になりたいと思いました。だから、お母さんのようにするのが私の夢です。お母さんから、介護士の仕事に対して、やりがいを感じていると聞いたことがあります。私も人と人のふれあいを大切にしたい。笑顔で絶やさずお母さんのような介護士になりたいと思います。（終）

ふれあいを通じて学んだこと

三河小学校6年
小久保亜美さん（河崎）





放射能が来た

佐用高等学校2年

舟引千春さん（下徳久上）

私は何とも言えないような気持ちになりました。腹が立ち、とても情けなくなりました。

「えっ…嘘やろ。」

という言葉葉しか出ませんでした。と同時に、その言葉を送った子供たちの親にも腹が立ちました。きつとその親はきちんと正しいことを教えずに、ただ「放射能が怖い」とだけ教えたのだと思います。

もし自分がその小学校の児童だったら、最初は確かにちよつと距離をおいてしまいかもしれません。でも、その子も大変で悲しい思いをしているのです。絶対話をしかけて仲良くなり、話を聞いてあげたいと思います。特別扱いをせず、みんなと同じように接したいと思います。逆の立場でも私に、「放射能が来た。」と言われたらとても傷つきます。学校にも行きたくないし、外にも出たくない。家にひきこもってしまうと思います。自分に自信がなくなり、毎日が楽しくないとも思います。たった一言

で、たった六文字で、その子をとんでも傷つけ、もしかすると一生を台無しにしてしまうと、私は思います。

今、その転校生がどうしているかは分かりません。しかし、きつと楽しく毎日を送っていると思います。「放射能が来た」といった子も、テレビのニュースや新聞を見て、その子がどんなに悲しい経験をしたかを理解し、自分の言った一言を反省したと思います。そして仲良くなっていると思います。私はそう信じています。母によると、広島・長崎で被爆された方も差別されたと言いました。

そして今、私が気になっているのは、東北にある瓦礫を全国で受け入れるというニュースです。私はこのニュースを見たとき、「大賛成やな。」と母と話しました。少しでも役に立てると思ったからです。しかし、反対している人もいました。「汚染される」「なぜ瓦礫を受け入れないといけないのか」など、他にもたくさん反対

意見がありました。私は少し情けなく思ってしまった。反対の人たちの気持ちも分かります。でも私は受け入れるべきだと思えます。その瓦礫はきちんと検査され、安全と確認されているのです。この反対する人たちの意見を東北の方々が聞くと、どう思われるでしょうか。きつと、とても落ち込み、つらく思われるでしょう。そんな思いを東北の方々にして欲しくはありません。そのためにも、もっと多くの地域が瓦礫を受け入れ、自分たちのできることをなるべく多く協力すればいいと思います。

助け合いましょう。今、困っているのは東北です。日本中の人々が東北をしっかりと支援し、早く復興して欲しいと思います。そしてまたほかの地域で困ったことがあれば、しっかりと支援していきましよう。

この国が、日本が、世界のどの国にも負けない、助け合う強い絆で結ばれた国になって欲しいと私は思います。（終）

原文のまま掲載

2011年3月11日。私の中学校の卒業式でした。卒業式が終わり、謝恩会でみんなと楽しく過ごして家に帰り、テレビをつけました。けれど、画面に映っていることが、すぐには理解できず、母としばらく沈黙していました。東日本大震災。テレビの生放送で津波が映っていました。まだ走っている車があるのに、その車を容赦なく飲み込んでいく津波。私はテレビの前に立ち、「逃げろー。」と叫ぶばかりでした。

お盆に東京の親戚が帰ってきました。久しぶりに会

えたので、会話ははずんでいる中、大震災の話になりました。

「東京はすごい揺れた。前の道路がぐねぐねになってたよ。」

私は本当にびっくりしました。道路が曲がるほど揺れるなんて想像ができません。すると、こんな話を始めました。

「ある小学校にね、震災後、福島から転校生が来たんだけど、その小学校の子は、転校してきた子になんて言ったと思う。」

「それが、『放射能が来た』って言ったんだって。」

私は、母と買い物に行った時、「f u c k h i e」フッチーというシンガーソングライターの人に会いました。

その方は、手話をしながら歌を歌います。耳が聞こえる人も、聞こえない人も、平等に同じこの時間を過ごしてほしいという思いから、手話をまじえて、歌うんだと言われていました。歌詞もすごくよく、「ぼくたちのうた」という曲の中に「家族や友の笑顔、見たいから僕は歌う。じいちゃんやばあちゃんがこの故郷を僕たちにくれたか

ら、今があるんだ。ありがとうこの気持ち胸に刻んで、かけがえのない今を未来へ描いていく。パパとママがくれた僕という命、温かい場所、僕は嬉しかった。抱きしめてくれた大きな手」という歌詞に私は感動しました。

私は四年前に亡くなった曾祖母が大好きでした。いつも、笑顔でいてくれて、家族のことを大切に思ってくれていました。フッチーさんの「ぼくたちのうた」を聞いた時、私は思いました。今、こうして私がここに居れるのは、お父さんや

お母さんだけでなく、おじいちゃんやおばあちゃん、みんながいたからだと改めて感じました。

今の世の中、テレビやニュースなどで、犯罪やいじめ、孤独死などが特に多く流れていると思います。犯罪では、お年寄りの人などに電話や訪問販売などでお金をだましとったりします。それはとても悪いことだと思います。

いじめでは、今、話題となっている中学生のいじめで自殺のニュースをよく耳にします。同じ中学生として思うことは、自分がそうされたらとてもイヤだし、悲しくなると思います。自殺をしてしまうほど、思い苦しんで、悩んでいたと思います。死んだ方が楽になると考えての行動かもしれません。

でも、家族はショックで悲しむにちがいないかもしれません。親より先に死んでしまうのは悲しすぎます。

でも、いじめられている人は「助けて」と誰にも言えなかったのではないで

しょうか。もし、私がある立場になった時、勇気を持って「助けて」と言える自分になりたいです。

孤独死については、周りの人が一人でも多く、早く気づいてあげられたのではないかと思います。お年寄りの人などは特に、誰かの助けがないと生活していきません。周りの人たちが協力し合ってお年寄りを支え合っていかれたらいいと思います。

この世の中、いろいろと悲しいこと、苦しいことなどあるけれど、みんなが元気に楽しくなるようになればいいなあと思います。

最後にフッチーさんが歌っているように、「同じ空、同じ時、手を取り合って歩いてく。僕たちは一人じゃないよ、この先に待っている出会いの種を未来へと咲かせたいから…」のように、私達が思いやりを持ち続ける世の中にしていきたいです。

今年の夏は、四年に一度のオリンピックが開催されました。

今年の日本のチームワークのすごさにはとても感動しました。協力し合い、はげまし合うことは大切だと感じました。

これから私はいろんな人に出会おうと思います。思いやりの心と、支え合い、協力し合う心を大切にしていきたいです。（終）



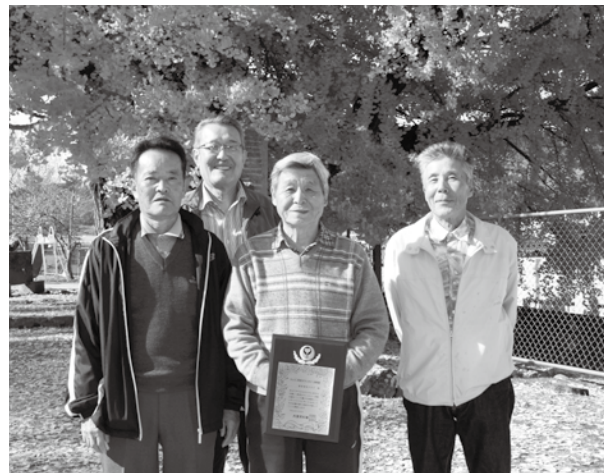
思い合う心

上月中学校3年

湯浅葉奈子さん（須安）



ひょうご県民ボランティア活動賞
いちよう
銀杏高年クラブ



受賞した銀杏高年クラブ役員の皆さん

銀杏高年クラブが、ひょうご県民ボランティア活動賞を受賞しました。
同会は約 40 年前からイチョウ公園の美化活動を実施。長年地域を見守り続ける大イチョウを守ろうと、草刈りや落ち葉の掃除に汗を流しています。このたび、長年の活動をたたえての受賞となりました。

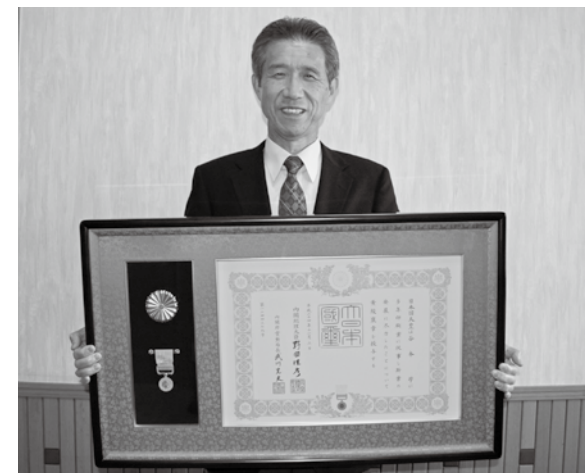
兵庫県知事表彰
円応寺自治会



受賞した円応寺自治会役員の皆さん

円応寺自治会が、県知事表彰を受賞しました。
同自治会では、防災マップづくりをきっかけに自主防災組織を再編。となり組制度といった隣保を中心とした独自の組織づくりや防災倉庫の整備など、災害に強い地域づくりに努めてきました。このたび、その取り組みが評価されての受賞となりました。

黄綬褒章
谷本 学さん（上町）



受章した谷本さん

谷本学さん(上町)が秋の褒章で「黄綬褒章」を受章しました。谷本さんは印刷会社を営み、町の刊行物や記録誌など様々な印刷物を手がける一方、町商工会長として平成 21 年台風 9 号災害で被災した商店の復興にも力を注いでいます。谷本さんは「復興に励む会員にとって明るい話題になったと思う。また同時に身の引き締まる思い」と話していました。

褒章、表彰などの皆さんをご紹介します

おめでとう
ございます

地域づくりやボランティア活動、その道一筋に励んだ人など、様々な取り組みや活動をたたえて、このほど、国、兵庫県、各種団体などから、褒章、表彰などを受けられた皆さんをご紹介します。

兵庫県知事表彰（自治賞）
衣本利美さん（山脇）



受賞した衣本さん

前・山脇自治会長の衣本利美さんが県知事表彰を受賞しました。長年にわたり自治会長として地域の振興に尽力した功績をたたえての受賞です。また、県連合自治会会長表彰を次の皆さんが受賞しました。

岩根正二さん（山田）・井口春美さん（口長谷）・春名廣行さん（口金近）・小西修さん（判官）・久本泰徳さん（久木原）・祖開正平さん（下上月）・山下俊博さん（仁位）・門元誠和さん（多賀）・梅内弘志さん（茶屋上）・原田吉實さん（湯小）・井口智章さん（大内谷）・大久保宏務さん（真宗）・船曳哲さん（乃井野）・井関仁さん（西市）・土井準さん（久保）・藤東義澄さん（三ツ尾）

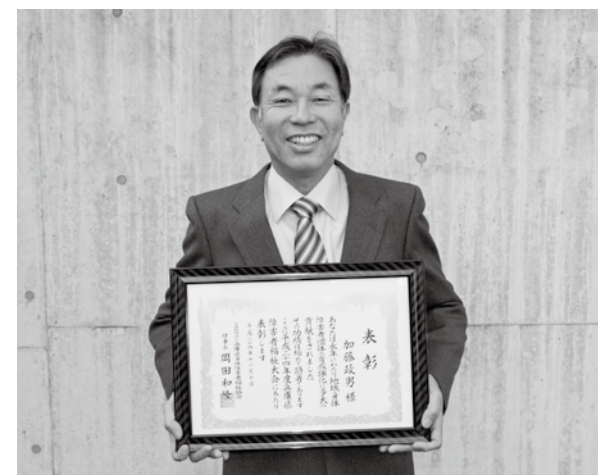
兵庫県技能顕功賞
大内忠行さん（北新町）



受賞した大内さん

大内忠行さん（北新町）が、県技能顕功賞を受賞しました。
大内さんは猟銃猟具店を営み、18 歳から 59 年間、猟銃の制作や修理に携わってきました。これまで手がけた銃は 15,000 丁以上に上ります。このたび、長年の功績をたたえての受賞となりました。

県身体障がい者団体育成功労者表彰
加藤政男さん（口長谷）



受賞した加藤さん

加藤政男さん（口長谷）が、県身体障がい者団体育成功労者表彰を受賞しました。
加藤さんは、昭和 58 年 4 月から 29 年 6 カ月にわたって町身体障がい者福祉協会の理事を務めたほか、障がい者スポーツの育成にも尽力されました。このたび、その功績をたたえての受賞となりました。

近畿農政局長賞・特別賞
矢原山ホタルむら



受賞した矢原山ホタルむらの皆さん

豊かな自然を生かして、優れた地域づくり活動を行ったとして、このほど、金子集落の「矢原山ホタルむら」が近畿農政局長賞と特別賞を同時受賞しました。ホタルむらでは、ホタルウォークや炭焼き体験など地域資源を生かした都市交流など、魅力あるむらづくりに取り組んでいます。



鹿肉メニューを試食する参加者

食べることで被害を減らす

ハイム・ゾンネが鹿肉の新料理で試食会

11月14日、老人保健施設「ハイム・ゾンネ」で、商工会青年部や施設関係者など約40人が集まり、鹿肉を使った新料理の試食会が行われました。

同施設では、鹿肉を使った15種類のメニューを考案。9種類が試食されました。高たんぱくでミネラルが豊富な鹿肉を利用者向けの食事に提供することで、少しでも被害を減らす試み。参加者は味をかみ締めながら、アンケートに答えていました。

医療施設に勤務する森川さやかさん（姫路市）は「臭みもなく、どの料理もおいしかった」と笑みを浮かべていました。



（左から）贈られたイスに座る大岩会長と大塚園長

憩いの場になってほしい

上郡ロータリークラブが南光園にイスを贈呈

上郡ロータリークラブが、このほど、救護施設「南光園」に長イス4脚を贈りました。

同クラブには、町内から11事業所が加入しています。イスの贈呈は同クラブの社会奉仕活動の一環として行われました。イスは革張りで、長さが約2.3m。大人3～4人がゆったりと座ることができます。贈呈式では、同クラブ会長の大岩敏彦さん（上郡町）が「憩いの場として、利用してほしい」とあいさつ。その後、早速入所者が座り心地を確かめていました。

同園長の大塚晋司さんは「大変ありがたい。大切に使います」と話していました。

安全・安心の意識を向上

福澤集落で収穫祭と砂防ダム工事見学会を開催

11月23日、福澤集落でふれあい収穫祭と砂防ダム工事見学会が開催されました。

恒例の野菜品評会には、地域住民が育てた白菜やねぎなど47点が出品。審査の結果、金賞には藤木登美子さんの“大根”が選ばれました。終了後、来場者が野菜を買い求め、売上金などが町社協に寄付されました。

また併せて、現在施工中の本村谷川と大谷川の砂防ダム工事見学会を開催。現地で進捗状況を確認しました。

同集落自治会長の木村政照さん（福沢）は「備えを忘れず、安全・安心の意識を高めていきたい」と抱負を語りました。



現場管理者から説明を受ける地域住民

劇を通じて認知症を理解

高年大学合同講座で認知症をテーマに演劇

11月15日、高年大学合同講座が行われ、受講生などが出演した劇「健やか人生～老後をいきいき生きる」が上演されました。

この劇は高齢者に関心が高い“認知症”を楽しく学ぼうと、受講生などが企画。認知症の症状が見え始めた高齢者が、家や路上で様々な騒動を繰り広げる物語です。舞台では受講生5人をはじめ、保健師や佐用署員などが熱演しました。

観覧した大谷道明さん（三日月下）は「認知症は本人だけでなく、家族にも及ぼす問題。わかりやすい内容で良かった」と話していました。



高齢者夫婦を抱える家族を演じる受講生など

支援の継続につなげたい

宮城県山元町で町職員が復興支援

東日本大震災で被災した宮城県山元町を支援しようと、町職員6人が11月23日に同町で行われた「ふれあい産業祭」で、ホルモン焼きうどん400食を振る舞いました。

同町には昨年4月から1年間、職員1人を派遣。庁舎建設などの業務にあたっています。今回、支援の継続につなげようと職員有志が出店を計画。催しには北海道から宮城県まで39市町が参加しました。

本町のブースには、香ばしい匂いに誘われた人で長い行列ができ、うどんは4時間で完売。売上金は職員の義援金と合わせ、すべて同町に寄付しました。



ホルモン焼きうどんを買い求める人たち

芸能発表や作品展示で交流

2年ぶりに江川ふるさと祭りが開催

11月25日、江川小学校で江川地区ふるさと祭りが開催され、地域住民約500人が芸能発表や作品展示を楽しみました。

隔年で開催され、今回で13回目。毎回地域の力を結集して、企画から運営まで行っています。芸能発表では保育園児や小学校の児童たちが歌や踊り、劇を元気に披露。午後からは大人たちが扇舞やコーラス、健康体操など、日ごろの練習の成果を発表しました。

また、会場には地域住民が制作した絵や写真、工芸など約200点が展示され、訪れた人たちの目を楽しませていました。



童謡を合唱する「たんぼぼの会」の皆さん

1 月 12 日(土)から
佐用警察署が新庁舎へ移転

佐用警察署は、佐用川の河川改修工事に伴い、庁舎（交通別館含む）を次の場所に移転します。お間違えのないようにお願いします。

■移転日 1 月 12 日(土)
※新庁舎での業務は、正午から開始します。

■新庁舎の場所
佐用町佐用
3133 番地
(旧兵庫県
佐用庁舎跡)

■その他
電話番号は
変更ありま
せん。

●佐用警察署 ☎82-0110

改修工事が完了
町商工会館で業務を再開

町商工会館は、建物の老朽化のため、昨年 7 月から改修工事を行っていました。その間、本庁機能を商工会上月支所に移して業務を行ってきました。
このたび、改修工事が完了し、昨年 12 月中旬から本庁舎での業務を再開しましたので、お知らせします。



改修工事を終えた町商工会館

●町商工会 ☎82-2218

販売しています
平成 25 年分 タクシー運賃助成券

町では、町内に住所がある高齢者や障がい者のかたを対象に、タクシー運賃の助成を行っています。平成 25 年発行のタクシー運賃助成券をお求めのかたは、社会福祉推進室、各支所で購入してください。なお、新たに制度の利用をご希望のかたは事前の登録が必要です。

- 対象者
- ① 65 歳以上の高齢者で公共交通機関の利用が困難なかた

② 介護認定を受けているかた

③ 身体障がい者手帳（1 種または 1 級～3 級）、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けているかた
- 助成券 1 冊（12 枚綴り）で 1,000 円
- 利用冊数 一人 3 冊まで
- 健康福祉課社会福祉推進室 ☎82-0661

おめでとうございます
浅霧健二さん（目高）が百歳



浅霧健二さん（目高）が百歳を迎えられました。浅霧さんは大正元年 11 月生まれ。ご家族から温かい祝福を受けられ、町からは長寿祝い金と花束が贈呈されました。



ゴール前の競り合い



地元バンドが演奏で選手を応援



表彰式の様子



スタートの合図とともに飛び出す選手たち（5 ㎞・男子）

■大会結果

3 位までの佐用町関係分のみ掲載（敬称略）。

- 【ハーフマラソン 40 才以上女子】
第 3 位 木原祐子（本位田甲）
- 【5 ㎞ 40 ～ 49 才男子】
優勝 諏訪 弘（佐用 RC）
- 【5 ㎞ 高校生～ 39 才男子】
優勝 久保巧臣（佐用高校）
準優勝 谷口 樹（佐用高校）
第 3 位 西川尚孝（佐用高校）
- 【5 ㎞ 40 ～ 49 才女子】
優勝 南上律子（漆野）
- 【5 ㎞ 高校生～ 39 才女子】
優勝 勝山史織（佐用高校）
- 【3 ㎞ 中学生男子】
第 3 位 永井博章（上月中）
- 【3 ㎞ 中学生女子】
第 3 位 高見香澄（上月中）
- 【1 ㎞ 小学 2 年生男子】
準優勝 原井智貴（三日月小）
- 【1 ㎞ 小学 1 年生女子】
第 3 位 衣笠紫庵（上月小）

12 月 16 日、三日月中学校グラウンドを発着点として、第 6 回 さようマラソン＆ウォークを開催しました。
日本各地から 1085 人の選手が参加。ウォーキングやハーフマラソンなど、年齢や距離で分けた 30 部門で実施しました。12 月としては暖かく、穏やか

な天気の中、佐用町の大自然の中を駆け抜け、商店街や三日月藩陣屋跡前など、沿道から大きな拍手と声援が送られました。また、会場では佐用ホルモンうどん食わせ隊のホルモン焼きうどんや、豚汁の無料サービスや販売が行われ、選手をもてなしました。

第 6 回 さようマラソン＆ウォーク
1085 人が健脚を競う

平成24年分所得税確定申告、平成25年度町県民税の申告相談

2月18日(月)～3月15日(金)に実施

事前申告相談は2月12日(火)～13日(水)

平成24年分所得税確定申告、平成25年度町県民税の申告相談を2月18日(月)から3月15日(金)までの期間で行います。申告の日時・場所は別途配布の日程表でご確認ください。また年金受給者のかた、給与所得者の還付申告のかたを対象とした事前申告や税務署・税理士による確定申告会場の開設もあります。

■申告書の配布 「平成25年度町県民税申告書」は、平成25年1月1日現在で佐用町に住民登録のある18歳以上のかたに、自治会長を通じて2月上旬に配布します。

「所得税の確定申告書」は前年に事業所得などを確定申告をされたかたには、税務署から郵送されます。なお、前年にパソコンによるe-Taxでの申告をされたかたには、税務署から郵送されないのので、引き続きe-Taxをご利用ください。

■税務署・税理士による開設日 2月19日(火)

【受付】 午前10時～午前11時30分 午後1時～午後3時30分

【会場】 さよう文化情報センター

■e-Tax パソコン申告 自宅でパソコンによる確定申告を行うためには、事前に住民課・各支所で「住民基本台帳カード」を作成(手数料500円)します。次に、住民課で住民基本台帳カードを持参のうえ「電子証明書」を作成(手数料500円)しておきます。

■e-Tax 申告をした場合、平成24年分所得税額から3千円(初回のみ)が控除されます。

■税務課町税対策室 相生税務署 0791(23)0231 082・0662

事業のための構築物・機械などの資産の固定資産税 償却資産申告書の提出を

土地および家屋以外の資産で、事業のため使用されている構築物・機械・器具・備品などの資産は、固定資産税(償却資産)の対象になります。償却資産をお持ちのかたには、12月下旬に、「平成25年度償却資産申告書」を送付していますので、1月31日(金)までに、税務課へ提出してください。

なお、申告書が届いていないかた、新規に事業を開始されたかたは、税務課までご連絡ください。

農耕用車両も軽自動車税の課税対象です トラクターなども登録を

軽自動車税は、毎年4月1日現在の所有者に課税され、農耕用車両(トラクターなど)も課税対象となり、登録(申告納税)が必要です。確定申告の納税相談の際に農耕用車両の所有状況を聞き、農耕用車両の登録がない場合には「軽自動車税申告書(報告)兼標識交付申請書」の提出をお願いします。

農耕用車両の税金は確定申告で、農業所得の経費(租税公課)として、農業用車両の購入費は、経費(減価償却費)として計上できます。領収書などは大切に保管して、収支を記録してください。なお、固定資産税(償却資産)の課税には、農耕用車両は除外されます。

問 税務課町税対策室 082-0662

シリーズ ぐみのはなし Vol.12

庭木のせん定枝の出し方

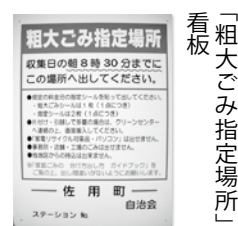
佐用クリーンセンターでは、ご家庭で出た庭木の「せん定枝」を受け入れています。出す場合には、次の点に注意してください。

- 【直接搬入の場合】
- ・せん定した枝は、長さ30センチ以下に細かく切って、ビニール袋に入れてください。なお、径が10センチ以上の大きな枝は持ち込めません。
- ・施設の処理機能の都合上、持ち込めない場合があります。できるだけ、事前に連絡してから持ち込んでください。※都合によってお断りする場合があります。
- 【ごみ集積所に出す場合】
- ・町指定の「もえるごみ袋」に入れて出してください。1回につき3袋までにしてください。
- ※できるだけご家庭の田や畑で処理し、ごみの減量化にご協力ください。

◎粗大ごみは指定の場所に出しましょう

粗大ごみは、各自治会が指定する場所へ出してください。指定場所には「粗大ごみ指定場所」の看板があります。ご確認ください。

なお、指定場所が資源回収ステーションと同じ場所である自治会もあります。



問 住民課環境衛生対策室 082-0660 問 佐用クリーンセンター 082-0293

4月稼働を目指して建設中の新しいごみ処理施設「にしはりまクリーンセンター」で、11月27日、焼却炉に点火する「火入れ式」が開催されました。

たつの市や宍粟市など、にしはりま環境事務組合を組織する3市2町の関係者約60人が参加。式典では、同組合管理者の庵道町長などがスイッチを入れ、炉に点火されました。試運転は3月上旬まで行われ、工事は3月下旬に完成予定です。

現在、町内で収集されたごみは「にしはりまクリーンセンター」で試験的に処理しています。ただし、本格稼働する4月までは一般の直接搬入はできませんので、直接搬入は、これまでどおり「佐用クリーンセンター」へお願いします。

にしはりまクリーンセンター 火入れ式を開催



火入れ式の様子

問 佐用クリーンセンター 082-0293

新着図書案内

2012.11.16～2012.12.8 受け入れ分の一部



●大人向けの本

はじめてのWindows 8 最新機能編

村松 茂／著 秀和システム

いのちの使いかた

日野原重明／著 マガジンハウス

古事記なるほど謎解き—〇〇話

滝音能之／編 小学館

生涯現役の知的生活術

小野田寛郎／ほか著 育鵬社

いつでも★ちょっとハンカチ&タオルあそび

竹井史郎／著 チャイルド本社

暮らしのなかの神さん仏さん

岩井宏実／著 慶友社

体が硬い人のためのヨガ Extra Lesson

水野健二／著

PHPエディターズ・グループ

年収300万円からの100年住める家づくり

近藤 昭／著

幻冬舎メディアコンサルティング

ためず、忘れず、使い切る！「ストック食品」

管理術 島本美由紀／著 亜紀書房

幸福な田舎のつくりかた

金丸弘美／著 学芸出版社

まど・みちお人生処方詩集

まどみちお／詩と絵 平凡社

光秀曜変

岩井三四二／著 光文社

★帝都を復興せよ

江上 剛／著 光文社

沈黙のひと

小池真理子／著 文芸春秋

▲残り火

小杉健治／著 双葉社

歓喜の仔 上・下

天童荒太／著 幻冬舎

孤愁

新田次郎／著 文芸春秋

■けさくしゃ

畠中 恵／著 新潮社

維新銃姫伝 藤本ひとみ／著 中央公論新社

ブルーマーダー

菅田哲也／著 光文社

路（ルウ）

吉田修一／著 文芸春秋

伊集院静の「贈る言葉」

伊集院 静／著 集英社

36歳、名門料理学校に飛び込む！

キャスリーン・フリッ／著 柏書房

●子ども向けの本

おかしなゆきふしぎなこおり

片平 孝／写真・文 ポプラ社

はじめてのおてつだい

ジャネット・マクネイル／作 岩波書店

▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

■定員 先着20人

■職員（研究員）

■講師 古谷 裕さん（県立人と自然の博物館主任研究員）

■場所 さよう文化情報センター

■日時 1月20日⑥
午後1時30分～3時

■化石に関する

おはなしや、化石のレプリカづくりをします。

化石に関するおはなしや、化石のレプリカづくりをします。

「おおむかしのおはなし」
～化石と石～
図書館ものづくり講座

すべての町民のくらしを応援します

としょかん



だより

佐用町立図書館

佐用町佐用 2585 TEL 82-0874(おはなし) FAX 82-0313

図書館 HP <http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp>

E-mail toshokan@town.sayo.lg.jp

■対象 小学生
■参加費 100円
■持参物 石ころ1個（山・川・庭など）

レファレンスサービスをご利用ください

レファレンスサービスとは、司書が図書館の資料を使って、皆さんの調査、研究を支援するものです。

例えば、▽「この本はどこにありますか」といった読書案内▽山中鹿之助の生没年やたこの作りかたなど、すぐに資料をお渡しできるもの▽紙の歴史と皆田和紙に関する事など、時間をかけて県立図書館や国立国会図書館などの資料を使って回答するものーなどがあります。

もし、調べ物で困ったことがあれば、職員に気軽にお尋ねください。

おはなし会
「小さい人（5歳以上）」■日時 毎週日曜日
午後2時～午後2時30分

■1月のおはなし「聴耳頭巾」

図書館カレンダー

1月 January 睦月							2月 February 如月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	④						①	②
6	⑦	8	9	10	11	12	3	④	5	6	7	8	9
13	⑭	15	16	17	18	19	10	⑪	12	13	14	15	16
20	⑲	22	23	24	25	26	17	⑱	19	20	21	22	23
27	⑳	29	30	⑳			24	㉕	26	27	㉖		

※○の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時

■対象 幼児・小学生
■申し込み 不要

■場所 図書館おはなしコーナー

■日時 毎週土曜日
午後2時～午後2時30分

としょかんボランティア「あそびせ隊」のおはなし会

絵本の会に変更する場合があります。

■「大きい人（小学3年生以上）」
■日時 毎週日曜日
午後2時30分～午後3時
■1月のおはなし「山伏のほら貝」

佐用町の誇り

県指定天然記念物
スダジイの古木

スダジイの古木

東中山集落の瑞籬神社から少し北へ進んだ右手の山麓斜面地に一本の古木があります。その幹はねじれ、一部がコブのようになって凹凸があり、いかにも古木の風格を備えています。

この木は、ブナ科シイ属の「スダジイ」で、佐渡、福島県以南の本州から南西諸島、韓国済州島に分布し、同属のコジイ（ツブラジイ）とともに暖地性照葉樹林の代表的樹種です。両者

は近縁種で若木の場合は区別が難しく、ドンダリの形がやや違うことと、老木になるとスダジイは樹皮に深い縦割れが生じるので区別されます。ドンダリはアク抜き不要で食用になるほか、木材としては建材、家具材、薪炭材、しいたけの原木などに利用されます。

これらのシイは、温暖な沿岸地の平地から低山地にかけて多く分布し、内陸山地に向かうにつれ、少なくなり、町内では三日月地域や久崎集落周辺より北の内陸部にはコジイはみられません。当地のスダジイは相当の古木であることと、当地の分布北限域にあることで学術的にも貴重であり、昭和61年に県指定天然記念物となっています。

■教育委員会 ☎82・2424

地域包括支援センターだより

高齢者の皆さんへ
前向きに一年を
過ごしましょう

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。

新年を迎えると新たな気持ちになりますね。でも、年を重ねると、だんだんと「若いころにできていたことができなくなったなあ」と考えがちです。

しかし、見方を変えれば、「その他のことは、まだたくさんできる」とも言えますね。物事をマイナスイ思考ではなく「プラス思考」で考えていくことは、とても大切なことです。

皆さんも、今、できていることを挙げてみましょう。その上で、今年は何か新しいことに挑戦してみたいかがでしょうか。

まずは、身近なことから挑戦しましょう。一つ達成できれば、自分の自信にもつながります。

例えば、毎日、▽20分散歩をする▽誰かと一回は話す▽読書するーなど。できることを少しずつ増やしていき、自信や張り合いを持って暮らすことができれば素敵なことですね。

皆さんがすこやかに、そして、できることが少しずつ増えていき、前向きでいきいきと毎日を過ごせるように、今年も一緒に頑張っていきましょう。

■地域包括支援センター（健康福祉課健康増進室）

☎87・8020

行事カレンダー

■デイ・ケア（精神障がい者社会復帰訓練事業）

1月9日㊥ 24日㊥

午後1時30分～午後3時30分

場所：町保健センター

■もの忘れ健康相談（要予約）

1月23日㊥ 午後1時30分～午後5時

場所：町保健センター

■こころのケア相談日（要予約）

1月10日㊥ 午後1時～午後3時

場所：町保健センター

担当医：赤穂仁泉病院 深井院長

問 健康福祉課 健康増進室 ☎87-8020

■こころのケア相談日（要予約）

■若者の心と体の相談（要予約）

1月11日㊥ 午後1時～午後2時

場所：龍野健康福祉事務所

問 龍野健康福祉事務所

☎0791（63）5142

赤ちゃんともママの行事

★3歳児健診

（平成21年11月～平成21年12月生まれ）

1月16日㊥ 午後1時00分～

★ヨチヨチ健康相談（平成24年1月生まれ）

1月18日㊥ 午後1時30分～

★4カ月児健診（平成24年9月生まれ）

1月28日㊥ 午後1時30分～

★すくすく離乳食教室

2月7日㊥ 午前10時～（平成24年7月生まれ）

★0歳児クラス（2カ月～1歳未満）

2月4日㊥

2カ月～6カ月児 午前10時30分～正午

7カ月～1歳未満児 午前10時～午前11時30分

★すてきなママになるための教室（妊婦）

2月4日㊥ 午前10時～

いずれも場所はさよう子育て支援センター

母子健康手帳の交付

母子健康手帳が必要な方は、事前に次へ連絡してからお越しください。

問 上月保健福祉センター ☎87-8020

問 さよう子育て支援センター ☎82-0341

いつまでも歯を大切に

8020 達成者表彰式・よい子よい歯の表彰式



8020 達成者表彰式の様子



よい子よい歯の表彰式の様子

11月11日、南光文化センターで、郡歯科保健推進協議会主催の8020 達成者表彰式・よい子よい歯の表彰式が行われました。

「8020 運動」は、80歳で健康な歯を20本以上残し、健康な高齢期を過ごすための運動で、佐用町（旧南光町）が発祥の地。今年も50人が対象となり、23人が表彰式に元気に参加。同会会長の新庄文明さんから表彰状が贈られました。また、よい子よい歯の表彰者（昨年度の3歳児健診でむし歯のなかった幼児）は105人。式典終了後には、幼児を対象に県歯科衛生士会による歯のおはなし会や、佐用ウインドアンサンブルの演奏などが行われました。

こんにちは 保健師です

大切です！子どもの生活リズム

子どもが健やかに育つためには、起きて、食べて、遊んで、寝るという子ども本来の生活リズムを身につけることが大切です。

●起床一朝の光をいっぱい浴びましょう！

生活リズムを整えるには、早く起こしましょう。ホルモンの影響で、朝6時～7時ごろが最もスッキリ目覚めることができると言われています。優しく声をかけ、カーテンを開けて朝の光を浴びましょう。

●ごはん一朝ごはんをおいしく食べましょう！

朝ごはんは、体温を上げて血液の循環を良くします。脳や体にエネルギーを補給する、いわば脳の「目覚まし時計」です。毎日同じ時間に食べるようにしましょう。

●遊び一午前中は外で体を動かしましょう！

昼間の活動量は、その日の夜の眠りを左右します。たくさん体を動かせば、必然的に夜は眠くなります。特に午前中は体が最も目覚めている時間なので、たっぷり体を動かしましょう。

●就寝一夜はきちんと寝かしつけましょう！

夜は決まった時間に寝かしつけましょう。お風呂、歯磨き、布団に入るなど、就寝までの段取りを決めて繰り返すと、時間どおりに眠る習慣がつけます。また就寝時には電気を消し、静かな環境を整えましょう。

子どもだけに生活リズムを改善させることは困難です。家庭によって様々な事情もありますので、できることから家族みんなで取り組んでみてください。

栄養士の食育メモ

「ふるさとの味」を未来につなぐ

町いずみ会と上月、上津中学校の2年生との交流事業「ティーンズキッチン」が、このほど両中学校で行われました。生徒たちはいずみ会員の指導を受けながら、地元の食材を使った稲荷寿司、こんにやくとごぼうの白和え、豆腐の味噌汁の調理に挑戦しました。

試食の後、食育に関するクイズが行われ、生徒たちは旬の野菜や地元の食材、食事のマナーなど様々な問題に挑戦。食育について楽しく学びました。

参加した生徒は、「会員の皆さんに優しく教えてもらって、料理に自信がついた。家でも教えてもらったとおりに作り、家族にも喜んでもらえた」と話していました。

皆さんも、お正月を迎え、ご家庭ではおせち料理を囲み、楽しい時を過ごされていることと思います。お正月は普段には食べることのできないごちそうを食べる「ハレ」の日。“味の記憶は、幸せの記憶”と言われます。

子どもにとって特別な日の料理は、大人になっても楽しい思い出として記憶に残ります。

おばあちゃんの味を孫へと引き継いで、「ふるさとの味」を未来につないでいきたいものですね。



上津中学校での交流教室

くらしの **情報**
Information

お知らせ

今月の納税

町県民税（普通徴収）
第4期分

納期限 **1月31日**（木）

口座振替日は1月31日（木）

問 税務課 町税対策室
☎ 82-0662

今月の納税相談日
1月25日（金）

■受付時間
午前8時30分～午後5時
■受付場所 役場本庁税務課
災害・盗難・疾病・失業
や廃業などで納期限までに
町税が納められない場合は、
納税相談に応じます。

問 税務課 収納管理室
☎ 82-0662

国民健康保険税（普通徴収）・
介護保険料（普通徴収）・
後期高齢者医療保険料
（普通徴収）第7期分

納期限 **1月31日**（木）

口座振替日は1月31日（木）

問 住民課 年金・保険室
☎ 82-0660

お知らせ

平成25年度

入札参加資格追加申請要領

平成25年度の建設工事、
測量・建設コンサルタント業
務の入札参加資格審査申請の
追加登録と業種選択届の変更
を次の要領で受け付けます。
※町内に限ります。

■受付期間
2月1日（金）～20日（水）
午前9時～午後4時
（土・日曜・祝日を除く）

■有効期間
平成25年度の1か年
■提出方法 持参・郵送
※郵送は2月20日（水）必着

【追加申請】

■提出書類
「建設工事」と「測量等」
によって提出書類が違います。
必要書類など、くわしくは
お問い合わせください。

■提出部数 各1部
（A4ファイルに綴じること）

【業種変更届】

平成24年度に選択した業
種を平成25年度では他の業
種に変更する場合のみ届出が
必要です。

■提出書類
①入札参加資格業種選択届（変更）
②工事経歴書（変更する業種分）

■提出先・お問い合わせ
総務課財政室
☎ 82-2549

合同企業説明会を開催

西はりま就職フェア in たつの

西播磨地域の優良企業を中
心とした合同企業説明会と企

お知らせ

業研究フェアを開催します。

■日時 2月6日（水）
午後1時～4時
■場所 たつの市青少年館
■参加対象

・3月に大学等卒業見込者
または、39歳以下のかた
・26年3月に大学等卒業見
込で、地元企業を志望のかた

■その他
参加企業は詳細が決まり次
第、西播磨県民局とたつの市
役所のホームページでお知ら
せします。参加無料。

【企業の皆様へ】
出展の参加は無料です。1
月15日（水）までに申してくだ
さい。※応募条件があります。
くわしくは次へお問い合わせ
ください。

■申込・お問い合わせ
たつの市役所商工観光課
☎ 0791-64-3156

お知らせ

ご心配のかたは相談を
年金記録を再確認ください

日本年金機構では、「年金特
別便」を送付するなどして、皆
さんの年金記録を確認してきま
した。しかし、いまだ約2,200
万件が確認されていません。ご
自身の年金記録にもれや誤りが
ないかご心配のかたは、次へご
相談ください。

問 姫路年金事務所
☎ 079-224-6385

お知らせ

「陰陽師の里江川ふるさと
写真コンテスト」結果

江川地域の自然や文化など、
地域資源をテーマに行われた

第1回「陰陽師の里江川ふるさ
と写真コンテスト」の審査が行
われ、応募総数34点の中から
次のとおり入賞者が決定しまし
た。（町内関係者のみ、敬称略）

■入賞者
・最優秀賞 岡田徳雄（福沢）・
優秀賞 岡下郁代（下徳久下）・
江川ふるさと賞 萩原将弘（下
長尾）・江川陰陽師の里賞 高
見章江（小赤松）・入選 岡本
憲一（乙大木谷）、横山志津子（下
長尾）、川副満寿子（平谷）



最優秀賞・岡田さん
の作品「雪の棚田」

問 江川地域づくり協議会
センター長 木村政照さん
☎ 84-0192

相談

司法書士による
無料法律相談を開催

相続登記や借金、成年後見
人などに関することでお困り
のことはありませんか。司法
書士による無料法律相談会を
開催します。

■日時 2月2日（土）
午後1時～午後5時
（受付は午後4時30分まで）
■場所 西山会館
■その他 予約は不要です。
参加希望のかたは、直接会
場へお越しください。

問 県司法書士会
☎ 078-341-2755

iii 人のうごき
12月10日現在（ ）内は前月比

人口 19,320人（△26）
男 9,263人（△4）
女 10,057人（△22）
世帯数 7,125戸（△9）

12月中の移動
出生 5人 死亡 18人
転入 16人 転出 29人

お誕生おめでとう
11月16日から12月10日届出分 敬称略

名 前 保護者 自治会

個人情報のため非公開

佐用チャンネル 1月18日（金）
放送更新日 2月1日（金）

■ちょうみんカレンダー 1月上旬～2月上旬

月日	曜日	内 容	場 所	時 間
1/3	木	佐用町成人式	さよう文化情報センター	13:30～
10	木	高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～
15	火	高年大学三日月教室	三日月文化センター	10:00～
		高年大学上月教室	上月文化会館	10:00～
			佐用町保健センター	
16	水	行政相談	上月支所	13:00～15:00
			南光文化センター	
			三日月支所	9:00～11:00
17	木	高年大学佐用教室	さよう文化情報センター	10:00～
19・20	土	あさぎり書道展	さよう文化情報センター	9:00～17:00 20日は16:00
20	日	図書館ものづくり講座	18歳ををご覧ください。	
		町子ども会駅伝大会	南光スポーツ公園周辺	8:30～

◆あけましておめでとう
ございます。今年も『広
報さよう』をお願いしま
す。◆最終面のシリーズ
『笑顔の輪』で紹介した
「上月獅子舞保存会」。同
会に限らず、獅子舞の回
し手や神輿の担ぎ手など
の後継者不足は、地域の
共通課題です。取材先で
「後継者不足は人口減が大
きな要因。でも、昔はもつ
と地域が一つになって、
みんなが頑張ろうという
雰囲気が強かった」とい
う言葉が頭に残りました。
◆伝統を守る難しさ。そ
れでも守り続けようと汗
を流すことが地域の力に
つながっています。今年
も町内で頑張る人たちが
追いかけています。よろし
くお願いします。⑤

編集後記

笑顔の



VOL.7

上月獅子舞保存会

獅子舞は世代を超えて
人と人をつないできた



獅子舞の頭を手にするメンバーの皆さん

江戸時代から上月八幡神宮に奉納される獅子舞。この伝統を受けついでいるのが「上月獅子舞保存会」です。昨年、結成40周年を迎えました。結成当時の唯一のメンバー・垣谷和廣さん（上月）は「先人たちから伝えられてきたもの。それを大切に守ってきただけ」と笑顔を見せます。

戦後、獅子舞の回し手は青年団の役割でした。その後、青年団が解散し、老人会（現・高年クラブ）へとその役割を移しましたが、高齢者だけでは体力的に難しく、次代へ伝統をつなげるため、昭和47年に住民有志で保存会を結成。現在25人が活動しています。

「当時は郡内の獅子舞が一同に集まり、披露することもありました。またそんな機会があればなあ」。垣谷さんは懐かしそうに振り返ります。

上月獅子舞は、小学生の児童が天狗と唐子にふんし、獅子を先導する『宮めぐり』など9つの演目で構成され、演技時間は約40分。「長い演目でもビデオを見ながら練習はせん。手とり足とり教えていく。楽譜がない音楽と一緒にや

笑顔でまちを彩ろう

僕らもそうやって教えてもらってきたから」。垣谷さんは、体と言葉で伝統がはぐくまれてきたことを教えてくれます。

獅子舞の奉納は10月の秋祭り。「舞を見るために町外に出たもんが帰ってくる。幼いころの思い出がよみがえってくるんやろね」と垣谷さん。また、同会会長の榎本博昭さん（中上月）は「練習などを通じて、大人や子ども、高齢者など様々な世代と交流できる。獅子舞が人と人をつなげている」と話します。

上月獅子舞は「雄獅子」。荒々しく激しい舞が特徴です。「今年も獅子舞のように元気で活気のある地域になれば」。メンバーたちは、新しい年に地域への思いを込めました。



10月14日に同神宮で披露された獅子舞

わが家のアイドル

よりと
谷口頼杜ちゃん

元気いっぱい食べるのが大好きな頼ちゃん。ママプラザでたくさんのお友だちができたね。これからも、元気いっぱい優しい男の子になってね。

